

倉青協/総会

新会長に小山企業の小山嘉一郎氏

「歴史から経営革新学び、新時代経営を創造」



小山新会長

倉庫業青年経営者協議会(倉青協)は9日、総会と全体会を開催した。富永太郎会長(福岡倉庫)の任期満了に伴い、新会長に小山嘉一郎氏(小山企業)を指名。副会長に喜多村祐輔氏(丸加海陸運輸)、谷川隆史氏(谷川運輸倉庫)、中川雅照氏(中川工業所)、村田龍一氏

(日本流通倉庫)が選任された。

小山新体制では、「歴史から経営革新を学び、新時代経営を創造する」をスローガンに掲げた。「倉庫業」に基軸を置くのではなく、「経営(革新)」にテーマを絞り、何が各社の基盤になっているか、どのような歴史背景で現在の姿に導かれたのかを学び、これからの経営に生かせるような活動を展開する。組織面では、「会員交流委員会」を「研修委員会」に名称変更し、学びの機会を増やし、現会員に提供するとともに、新規

会員の増強にも寄与させる。倉庫業から派生した物流機能も含め倉庫、運送、不動産、ITをテーマに見学会、分科会、企業交流会を検討。執行部もこのテーマに沿って選出を検討する。

小山新会長は就任にあたり「2005年、30歳で倉青協に入会した。当時、当社はパブル崩壊のおりを受けており、今日の当社の経営状況があるのも倉青協のおかげ。メンバーから仕事をいただくだけでなく、他社資本を使って倉庫を建てる手法、収支管理、品質管理の国際規格であるISO9001の品質マニュアルなどいろいろなことを教えてもらった」と謝辞を述べた。

「倉青協の皆さんに教えてもらいながら、仕事するうえでものさしをつくっていい

えで、「第二次ベビーブーマーの世代が(倉青協が定める卒業年である50歳)で卒業し、この3、4年で50人くらいが抜けてしまおう」と指摘し、会員増強の必要性を強調した。



退任した富永氏

た。現在の会員の皆さん、これから倉青協に入ってくる人たちが倉青協に参加して、会社に(果実を)持ち帰ってもらえるように恩返ししていきたい。コロナ禍では思い切った活動ができなかったが、フルスロットルで走り抜いていきたい」と力強く語った。

両方を実施。企業交流委員会では物流DX・ICT、省人化・自動化設備、EC物流、製造業における物流管理をテーマとした企業交流会を計4回予定。広報委員会では、SNSやホームページなどで積極的な情報発信を行い、行政、外部団体との情報交換を行う。

なお、退任した富永氏は、「コロナ禍3年のつらい状況を乗り越え、新体制にバトンを渡せるのは大きな喜び」としたう

倉青協

「創立50周年記念式典」を開催



倉庫業青年経営者協議会(倉青協)は9日、総会・全体会終了後に50周年記念式典を開催した。当日は会員に加えて、歴代OBや来賓などが多数参加した。

倉青協の創立50周年をともに祝った。式典では冒頭、富永太郎前会長が倉青協の歴史を振り返りつつ、歴代会長やOBへの感謝の意を表明。来賓を代表して国土交通省の鶴田浩久公共交通・物流政策審議官、日本倉庫協会の久保高伸会長が祝辞を述べた。続いて、小山嘉一郎新



一、野口英徳、富永太郎の各氏のインタビューなどが掲載されている。

CM・PV・会社案内、映像制作を承ります!!
carbo@carbo-news.co.jp